

お知らせします

城里町の平成26年度決算が9月定例会で認定されました。町民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金等がまちづくりのためにどのように使われたのかをお知らせします。

◆特別会計・企業会計◆

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険特別会計(事業勘定)	25億8,690万5千円	25億6,592万1千円	2,098万4千円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	2億4,521万9千円	2億4,219万9千円	302万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,811万4千円	1億7,779万6千円	31万8千円
介護保険特別会計(保険事業勘定)	18億7,829万1千円	18億7,606万7千円	222万4千円
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	453万2千円	453万円	2千円
公共下水道事業特別会計	8億6,500万1千円	8億80万6千円	6,419万5千円
農業集落排水事業特別会計	2億8,845万2千円	2億8,228万6千円	616万6千円
水道事業会計	収益的収入・支出	7億4,745万4千円	7,130万7千円
	資本的収入・支出	3億8,186万円	※△2億1,199万4千円

※不足額は消費税、地方消費税資本的収支調整額及び過年度損益勘定留保資金で補てんしました。

●基金●

基金	残高
うち財政調整基金	35億6,399万円

■地方債■

地方債	現在高
うち一般会計	110億1,972万円
うち特別会計	87億8,691万5千円
うち企業会計	39億1,595万5千円

●主な町の財産●

行政財産	土地	811,508㎡
	建物	112,309㎡
普通財産	山林	2,216,316㎡
	土地	189,613㎡
	建物	8,380㎡

財政分析指標 健全化判断比率

健全化判断比率とは自治体の財政状況を示す指標で、数値が低いほど自治体の財政状況は良好と判断します。

平成26年度も前年度同様すべて基準値を下回っていますが、引き続き起債発行事業を精査するなど、計画的な財政運営に取り組みます。

この基準を超えると、財政健全化計画を作成し、改善に取り組まなければなりません。

指標	内容	平成26年度	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	赤字なし	14.09%
連結実質赤字比率	全会計(一般会計・特別会計・企業会計)の赤字の割合	赤字なし	19.09%
実質公債費比率	借入金(地方債)の返済額の割合	12.8%	25.0%
将来負担比率	借入金(地方債)など将来負担が見込まれる負債の割合	73.1%	350.0%

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字であるため数値の表記はありません。

決算報告

平成26年度 決算を

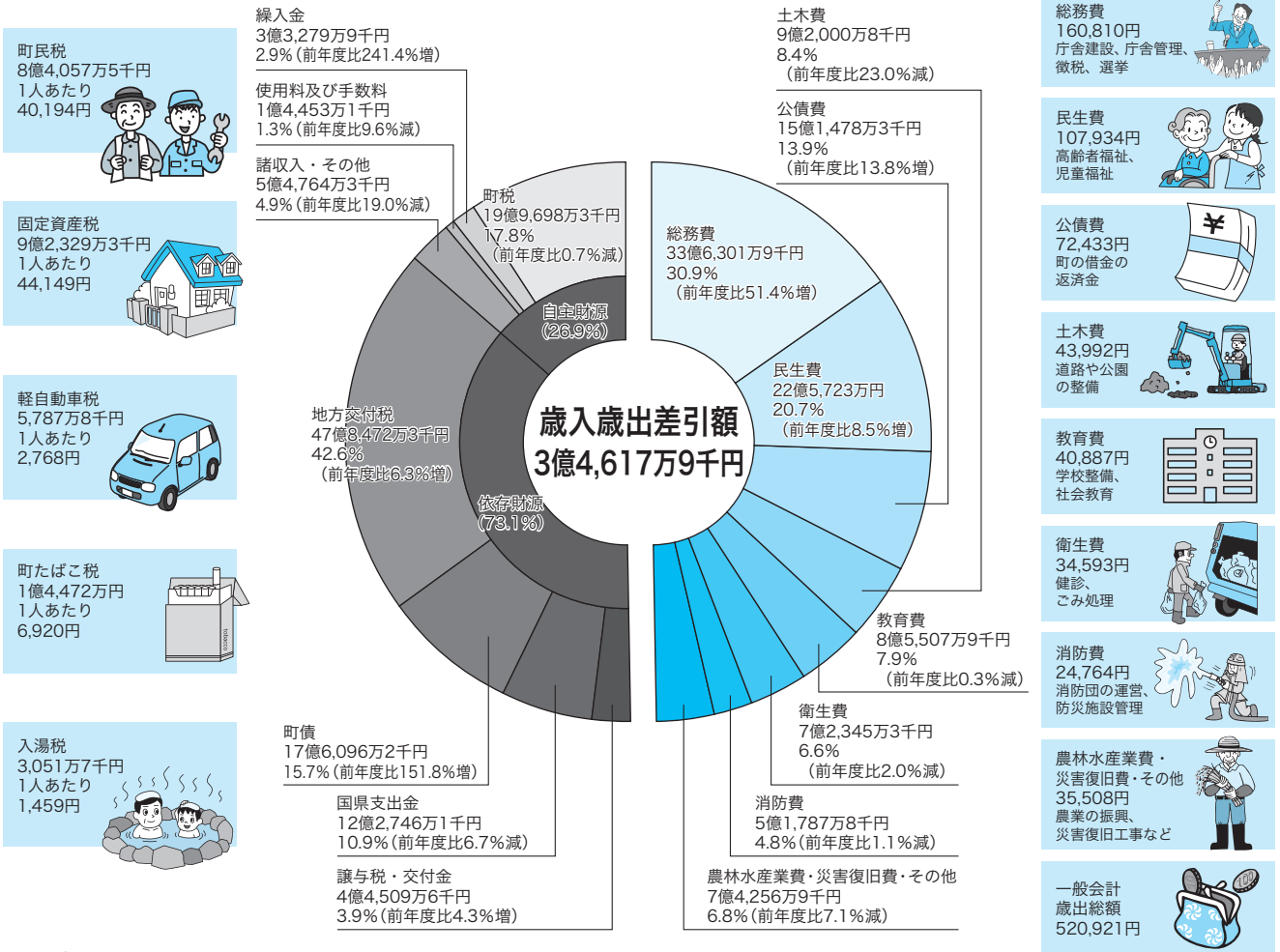
歳入 112億4,019万8千円
前年度比13.7%増

一般会計

歳出 108億9,401万9千円
前年度比11.8%増

町税の内訳と町民1人あたりの町税負担額

町民1人あたりに使われたお金



※ 平成27年3月31日現在人口20,913人で算出

歳入 庁舎建設事業の財源である、震災復興特別交付税、地方債及び繰入金等が増額となり、歳入総額は前年度より13.7%の増額となりました。

また、平成26年4月に消費税率が改正されたことに伴い、地方消費税交付金が増額となりました。

一方で、平成25年度に交付された、政府の緊急経済対策「地域の元気臨時交付金」等の減額により、国県支出金が減額となりました。

歳出 庁舎建設事業により総務費が大幅に増額となり、歳出総額は前年度より11.8%の増額となりました。

また、国民健康保険特別会計(事業勘定)では療養給付費等が膨らみ、一般会計からの繰出金が増額となったほか、消費税率の引上げによる影響を緩和するための給付金支給事業等により、民生費が増額となりました。

一方で、国庫補助金と交付金を財源として実施した町営団地長寿命化工事が平成25年度に完了したこと等により、土木費が大幅に減額となりました。

問合せ 企画財政課 ☎029-288-3111 (内線232)